

■竹山道雄 評論家・独文学者・作家。敗戦で一高教授を退官し、直後の児童文学の傑作「ビルマの豎琴」で名を遺す。

たけやまみちお

日比谷公園・1903 = 大阪市東区で銀行勤務者の子に生まれた。

日露戦争終・1905 = 2歳：幼時は京城(ソウル)で送り，

明治天皇没・1912 = 9歳：

のち東京に移り，

東京府立四中・一高を経て，

原敬首相暗殺1921 = 18歳：

円本時代始・1926 = 23歳：東京帝国大学独文科卒業。ただちに一高講師となり，

海軍軍縮条約1930 = 27歳：

満州事変・・1931 = 28歳：ヨーロッパ留学後教授に昇進，研究と翻訳で功績を上げる。

日中戦争始・1937 = 34歳：

第二次大戦始1939 = 36歳：

・・・・・1942 = 39歳：少年文化叢書「光と愛の戦士」，

敗戦・・・・1945 = 42歳：敗戦後，
新憲法公布・1946 = 43歳：退官して，以後はおもに著述に従事。

極東裁判決・1948 = 45歳：「北方の心情」。***児童文学「ビルマの豎琴」が毎日出版文化賞となり，広く名を知られる。**
三大事件・・1949 = 46歳：評論集「愚かれた人々」以降，旺盛な評論活動を展開し，流行の左翼思想の公式的見解に抵抗しつつ，純粋なヒューマニズムの立場から，左右の全体主義を批判，

独立回復・・1951 = 48歳：「樅の木と薔薇」「失われた青春」。「ビルマの豎琴」は文部大臣賞にもなって，傑作の評価が定まり，

メーデー事件・1952 = 49歳：児童文学「ハイジ」，

テレビ放送始・1953 = 50歳：「見て感じて考える」，

自衛隊発足・1954 = 51歳：紀行文「古都遍歴-奈良」，

55年体制始・1955 = 52歳：「精神のあとをたずねて」「白磁の杯」，

国連加盟・・1956 = 53歳：***市川崑によって「ビルマの豎琴」が映画化され，「昭和の精神史」が評論の代表的な作品になった。**

なべ底不況・1957 = 54歳：「桜の木と薔薇」。紀行文「ヨーロッパの旅」などの見逃しがたい。

インフラ・1958 = 55歳：「昭和の精神史」，

美智子妃・・1959 = 56歳：「続ヨーロッパの旅」，

安保闘争・・1960 = 57歳：

全国総合計画1962 = 59歳：「まぼろしと真実 私のソビエト見聞記」，

TV宇宙中継始1963 = 60歳：***「剣と十字架 ドイツの旅より」で読売文学賞。**

いざなぎ景気1966 = 63歳：「人間について 私の見聞と反省」，

霞ヶ関ビル・1968 = 65歳：「時流に反して」，

大阪万博・・1970 = 67歳：「日本人と美」，

石油ショック1973 = 70歳：

角栄金脈辞任1974 = 71歳：「乱世の中から 竹山道雄評論集」，

アラン・ル事件1975 = 72歳：長崎キリシタンを舞台にした思想小説「みじかい命」，

中曽根内閣・1982 = 79歳：

ドイツ・ラント・1983 = 80歳：***菊池寛賞を受賞し，日本芸術院会員になったが，**

・・・・・1984 = 81歳：没した。

「この人どんな人」，